

支所だより

東予・丹原・小松の各総合支所管内での、身近な出来事や話題などを紹介するコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

冬の味覚を訪ねて

～朝採りブロッコリー～

東予総合支所管内では、周桑平野の肥沃な土地を利用して、米、麦や季節の野菜が栽培されています。

今回は代表的な冬野菜として、ブロッコリーを紹介しします。



収穫作業

J A周桑の組合員、約80軒がブロッコリー生産部会を立ち上げ、約16.2ヘクタールの農地で、年間約110トンのブロッコリーを生産しています。

8月中旬から10月に植

え付けたブロッコリーは、10月から3月にかけて収穫されます。J A周桑では、朝採りにこだわり、早朝収穫したブロッコリーを段ボール箱に詰めて、松山や京阪神の市場に出荷しています。

ブロッコリーはアブラナ科の緑黄色野菜で、ビタミンB、ビタミンC、カロテンや鉄分を豊富に含み、ゆでてマヨネーズなどの調味料をつけて食べることが多いですが、炒めものや天ぷらなどいろいろな調理方法があります。

市内では、周ちゃん広場などで購入できますので一度ご賞味ください。段ボール箱に詰めて出荷



丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

愛する里山の荒廃を防ぐボランティア活動

～「高知里山を愛する会」の取り組み～

放置竹林は、強力な繁殖力で里山にはびこり、高く伸びた枝が森林内の日照を阻んだり、地下茎が田畑まで伸びて農業に支障を及ぼすほか、立ち枯れた株が地下に空洞を作り土砂崩れの原因となるなど、防災面の



伐採した竹を粉砕機へ

危険も指摘されています。

丹原町高知地区においても、手入れされないままの竹林に危機感を募らせた地区住民有志が、平成21年に「高知里山を愛する会」(越智賢二代表、現会員数

20人) を結成しました。

「高知里山を愛する会」では、森林組合等の技術指導を受けながら、懸案となっていた竹林を間伐・整備し、伐採した竹を粉砕機で粉状に処理・堆肥化して農業への利用を図り、林業と農業の連携による地域の活性化と化学肥料に頼らない循環型農業の確立をめざしています。

また、竹の花器や箸づくりをとおして、竹の有効性と環境意識の高揚を図る取り組みも行っています。

皆さんも、次世代へつなげる竹林整備ボランティア活動を行ってみませんか。



粉砕機で粉状にして袋詰め

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

地域とともに成長する子どもの環境づくりをめざして

～こまつ子ども教室～

去る1月18日、地域の皆さんの協力のもと、小松公民館で「こまつ子ども教室」が開催されました。

今回の教室には、小松小学校の児童3、4年生12人が参加し、地域ボランティアの吉田早苗さんの指導で



真剣なまなざしで料理に挑戦!

お弁当づくりを行いました。子どもたちは約2時間の作業の中、集中力を欠くことなく真剣に調理に取り組みました。そして、出来上がった料理を友達とおしゃべりをしな

がら楽しく試食しました。子どもたちは「のりを巻くのが難しかった」「お弁当づくりは楽しかったし、いい経験ができた」「また参加したい」など、達成感に満ち溢れた笑顔で感想を話してくれました。

このような体験をとおし、子どもたちは豊かな感情を育み、協調性や自主性、思いやりの心などを学ぶとともに、食への感謝の気持ちを持つ良い機会となったのではないのでしょうか。

現在、ボランティアとして参加できる方を募集中ですので、ぜひご参加ください。

■問合せ 小松公民館
TEL0898-72-2631



個性豊かなお弁当が完成!!